

1 審議会名	塩田地域協議会
2 日時	平成28年5月19日(木) 午後1時30分から午後3時10分まで
3 会場	塩田公民館 大ホール
4 出席者	山極会長、山部副会長、阿部委員、伊藤委員、尾崎委員、工藤委員、窪田委員、甲田委員、小林委員、坂田委員、高野委員、竹内(榮)委員、竹内(弘)委員、竹下委員、龍野委員、西川委員、早坂委員、林委員、増澤委員
5 市側出席者	北沢センター長、土屋地域振興政策幹、堀内補佐、佐藤主査 福祉課 小山課長、工藤課長補佐、柳沢課長補佐、政策企画部 金子学園都市担当 参事、土地改良課 滝澤課長補佐
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	無 記者 無
8 会議概要作成年月日	平成28年5月27日
協 議 事 項 等	

1 開会(副会長)

2 あいさつ(会長)

3 協議事項(会長進行)

(1) 社会就労センター上田事業所の閉鎖について(意見聴取:福祉部福祉課)

・資料に基づき、福祉課説明

(委員) 施設利用者10人のうち障がいを持った5人の方は施設の廃止に対してどのように考えているのか。

(担当課) 障がい者5人のうち就労支援事業の対象となっている方は40代の1人である。この方は継続を希望しているので市で仕事先を探している。残りの4人の障がい者についてだが、2名は金銭扶助を受けており、生活していく上で直ちに困らないと考えられる。他の2名については既に70歳を超え高齢でもあり、金銭扶助を含め今後の生活が困らないよう対応していきたい。

(委員) 今年度中には利用者が困らないようにしていくということでよいか。

(担当課) 利用者が生活に困窮しないよう取り組んでいきたい。

(委員) 職員5人は廃止後どうなるのか。また、施設廃止後の敷地はどのようなになるのか。

(担当課) 職員は市の職員で、正規職員の所長と臨時職員4人である。臨時職員のうち1人は4回更新しているので市の臨時職員の任務は満了となるが、他の3人についてはまだ更新できるため、人事当局が人事異動で対応すると思われる。

施設の廃止後について、建物は55年経過し、耐震上問題があるので解体する。敷地については旧ゲートボール場だった公園も含まれ課題もあるが、売却する方向で考えている。

(委員) 廃止後土地が草などで荒廃したり、動物が住みついてしまうことが心配である。

(担当課) しっかり管理するよう移管先の契約管財課にお願いしていく。

(委員) 仕事を受けているオルガン針の意向はどうか。

(担当課) 3月に閉鎖のあいさつに出向いている。事業所が受注してきた汎用品のメリヤス針は今年の4月に全て海外に移管済みであり、また、オルガン針は4月から分社化され、生産体制が大きく変わり、内製化を進め下請けを整理する方向であるため、当事業所の閉鎖の影響は軽微である。

(2) 意見書「災害時に生かされる福祉ネットワークの構築について」に対する回答について(福祉部福祉課)

・資料に基づき、福祉課説明

(委員)市が保有している個人情報をいかに自治会に提供することかできるかが大きな課題である。小さな自治会は活動が進められやすいが、大きな自治会は自治会未加入者もいてスムーズに進められない。民生・児童委員など特定の方に市の情報を提供すれば、自治会と連携して取組が円滑に進むと思われる。

(担当課)承知した。

(委員)災害時要援護者登録制度の周知について、具体的にはどのような方法で行うのか。

(担当課)広報紙への掲載、住民を対象にした会議等の中で周知していきたい。そのほかの方法等があれば御提案いただきたい。

(委員)台帳が整備されている自治会には年1回個人情報を提供する方向であるとのことだが、もう少し詳しく説明いただきたい。

(担当課)台帳を整備した後、更新していない自治会が多い。個人情報を一定期間で更新していかないと災害時に使えない。頻繁に更新できればよいが自治会の負担も増えてしまうので、年1回程度更新いただく方向で検討している。更新の頻度については、今後、民生・児童委員や自治会の皆様に相談していきたい。

(委員)台帳が整備されていない自治会が今後台帳等を整備すれば、市から個人情報を定期的に提供していただくということでしょうか。

(担当課)自治会で台帳を整備するということであれば市から個人情報を提供するので、了解が得られた方を台帳に登載していただくことになる。以降、市が年1回定期的に個人情報を自治会に提供していくことを現在検討しているところである。

(委員)個人情報は本人の了解を得なければ提供することはできないと思うが、要援護者を支援する側としては、市から個人情報の提供がないと支援することができないので、個人情報の提供を拒否する方に対して市から積極的に働きかけていく必要があるのではないかと。

(担当課)努力してまいりたい。

(委員)台帳が整備されている自治会は市内でどのくらいの割合か。

(担当課)95%の自治会で台帳は整備されているが、その内容は高齢者のみで障がい者が含まれていないなど自治会ごと様々である。

(委員)市が老人会などの場に行って、制度について十分説明すべきである。

(担当課)そのように対応してまいりたい。

(委員)個人情報の提供を拒む方は、情報を悪用されてしまうのではないかなど誤解している面があるのではないかと。そういった誤解を解くことに力点をおいて説明する必要がある。

(委員)個人情報の提供を承諾してもらうには信頼関係が重要である。該当する方だけに説明するのではなく、若い世代にも制度を周知し、家族から該当者に勧めてもらうことも必要ではないかと。

(3) 長野大学の公立大学法人化について(意見聴取：政策企画部公立大学法人化準備室)

・資料に基づき、政策企画部、長野大学から概略の説明

(会長)配布資料が多いので、改めて資料に目を通していただき、何かあれば長野大学に照会いただ

きたいが、本日の説明や日頃考えていることがあれば発言いただきたい。

(委員) 長野大学の運営が今後赤字になるから上田市に支援を求めているという印象を受ける。長野大学を公立大学法人化することは市の税金の無駄遣いにつながるのではないか。

(担当部) 税金の無駄にはならない。長野大学が無ければ若者がいない都市になってしまう。少子化が進み、地方大学が生き残るには、若者に選ばれる大学に変わっていかねばならない。公立化という話もあり、長野大学はこの3年間定員が確保できている。公立化は目的ではなく、手段である。上田市は多くの優秀な若者が市内、県内、県外から来て長野大学で学び、上田市に愛着を持って残っていただくという、学園都市づくりを進めている。この取組に対して大学の運営交付金を活用していくので、税金の無駄遣いではないと考えている。

(委員) 公立化した場合、大学に交付する交付金に相当する額が確実に地方交付税に増額されるということでしょうか。

(担当部) 県を通じて総務省に確認もしている。地方交付税で増額となった額の範囲内で長野大学に運営交付金を交付する予定である。

(委員) 公立大学法人化後の財政シミュレーションでは、大学への運営交付金が毎年2億7千万~8千万円となっているが、これは交付税の基準財政需要額の範囲内に収まっているのか。

(担当部) 収まっている。

(委員) 大学への運営交付金は国からの交付税の範囲内で支出するため、市の持ち出しにならないということでしょうか。

(担当部) そのとおりである。

(委員) 既に公立大学に移行した事例をみると、公立化前後で志願倍率が大幅に伸びた大学とそうでない大学があるが、この点については分析しているか。

(担当部) 福知山公立大学は志願者倍率が33倍と大幅に伸びたが、志願者が増えたものの定員が50人の少数であることから高い伸びとなっている。志願者倍率の伸びが少ない名桜大学は沖縄県という立地の上の問題であると考えている。長岡造形大学もデザインという特殊性で志願者の伸びが低いものと考えている。長野大学を公立化した場合、志願者倍率はかなり伸びるものと考えている。

(委員) 定員を300人から380人に増やしたのはどのような算出をしたのか。

(担当部) 授業料は国公立大学並とし、先生の数など大学の支出等を積み上げた中で、最もバランスの良い学生数として380人に設定した。

(会長) その他に何か疑問な点などあれば、市や大学に連絡してほしい。

(4) その他

無し

4 報告事項

(1) ため池ハザードマップ及び「塩田平のため池群」の世界かんがい施設遺産登録の申請について(農林部土地改良課)

・資料に基づき、土地改良課から概略の説明

(委員) ため池ハザードマップについて、塩田地域は4つの池(手洗池、来光寺池、下之郷新池、北ノ入池)だけか。

(担当課) 今回は平成25年度から調査してきた4つのため池のハザードマップを作成したが、現在、中

塩田及び西塩田地区にある 17 のため池の耐震や洪水対策を実施しており、これらのため池についても順次ハザードマップを作成していく予定である。

(委員) 最終的にはどの程度のため池のハザードマップを作成するのか。

(担当課) 市内 86 のため池のうち、ため池の規模や決壊時の周辺への影響を考慮して、市内 52 のため池についてハザードマップを作成していく予定である。

(委員) ため池の耐震対策が行われればハザードマップは必要なくなるのか。

(担当課) 耐震対策の後でも万が一に備え、ハザードマップを活用いただきたい。

(委員) ため池の世界遺産登録の申請について、知らない方が多いので、多くの方に現状について周知してよいか。

(担当課) よろしく願いしたい。

(2) 地域協議会について

時間がなく、次回に持ち越しとなった。

(3) その他

無し

5 その他

(1) 上田市表彰審査委員会委員の推薦について

・(事務局) 秘書課から塩田地域協議会に対して選出依頼があり、過去の慣例により、山極会長を推薦させていただき旨報告した。

(2) その他

・(事務局) わがまち魅力アップ応援事業の第 2 回応募受付が 5 月 30 日(月) から 6 月 10 日(金)まで行われることを報告した。

6 閉 会 (副会長)